



## 年度の始まりにあたり

PTA会長

三村 珠美



例の状況のなか、入学式を迎えることと

今年は暖かい日が続く、桜の開花も例年より早く穏やかな季節とは裏腹に、コロナ禍での感染防止対策を講じるなど異



# かじのは

発行  
諏訪二葉高校PTA  
編集  
広報委員会  
印刷  
(株)オノウエ印刷

なりました。

諏訪二葉高校の保護者の皆様におかれましては、平素よりPTA活動に對しご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。本年度PTA会長を務めさせていただくことになりました、三村と申します。伝統ある二葉高校のPTA会長として重責を担うこととなりますが、精いっぱい務めて参りますのでよろしく願います。

新しい高校生活がスタートし一か月が経過しておりますが、昨年から猛威を振るうコロナ感染症は、未だに収束の兆しも見えず、四月には首都圏で緊急事態宣言も発令されるなか、諏訪地域でも警戒レベル5が発令され、今後の学校現場においても様々な制約が強いられ、教育活動やPTA活動への影響が懸念されます。この状況の中で、子供たちが元氣よく学校に通い健やかに高校生活を送ることができるよう、校長先生をはじめ先生方の献身的な対応の賜物と感謝しております。困難な時こそ前向きに進むことで、真の心の強さを養える機会であると捉えております。

近年では、社会環境が大きく変わろうとしており、教育環境や我々保護者自身の価値観も多様化するなど、大変厳しい時代を迎えております。このような時代のなか、子供たち自身の豊かな社会性や自らの責任を自覚し行動できる大人となるよう、学校と保護者が一体となり充実した高校生活を送ることができるよう、PTA活動を通して関わる事ができればと願っております。

一日も早くコロナ禍が収束し、子供たちが充実し心豊かに安心して過ごすことのできる環境作りのために、学校と保護者の皆様との懸け橋となるよう一年間努めてまいりますので、よろしく願います。

## 新たな学びの推進



学校長 浅井 秀俊  
保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援を賜り、感謝申し上げます。今年

度より歴史と伝統のある諏訪二葉高校に赴任し、身の引き締まる思いです。コロナ禍、今後も予測できないことも起きるかもしれませんが、安心・安全な学校、学びの継続に取り組み、生徒が充実した学校生活を送れるよう、保護者の皆様の力もお借りして、精一杯努めてまいりますのでどうかよろしく願います。

今年は、春の訪れが早く満開の桜の中、4月6日に240名の新入生を迎え、全校714名で令和3年度がスタートしました。創立114年目を迎え、本校の教育目標「自主・努力・感謝」のもと、生徒は互いに切磋琢磨しながら、学習に、部活動に、生徒会活動に日々積極的に取り組んでおり、明るい笑顔と真剣な姿勢が同居し活気にあふれています。職員一同、一歩一歩確実に、生徒の成長と目標実現のため力を尽くしていきたいと思っております。また、生徒一人一人の存在や個性を大切に、学びや意欲を重視するとともに、学校を、居心地の良い、活力に満ちた学びの空間になるよう、生徒の変容・成長を受け止め、支援してまいりたいと思っております。

AI技術が格段に進化し、国際化も進んでいます。「人生100年時代」を豊かに

に生きるため、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する力や、生涯にわたる学習や能力の向上が必要となつていきます。授業も変わっていきます。「教えてもらう、覚える」が中心の授業から、「探究的な学び」の視点を取り入れ、自分の考えを持ち、他の意見をよく聴き、比較したり疑問点を確認しあつたりして、より高みを目指す授業づくりへと変換していきます。また、ICTの活用については、自分の考えや学びを深めるツールとして、生徒の興味・関心を深め、一人一人が自ら「学びたい」と意欲的に取り組める授業を考えます。そうした学びを通して、仲間と一緒に学ぶ、意見交換をする、議論を闘わす、外に目を向ける、自分の学びを外で試す、そんな姿勢を大切に、自分を伝えつつ、協力して何かを成し遂げる力、一緒に働ける力を身につけ、自分と意見が違ふ人と上手に付き合ひ、自分の意見を伝えながら相手の意をくみ、そして一緒に何かを作り上げる、そんな姿を期待しています。

最後に、高校再編につきまして、「諏訪地域の高校の将来像を考える協議会」は、諏訪地域の将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について、諏訪地域6市町村共同で設置し検討してまいりました。そして、3月に長野県教育委員会に対して意見書を提出しました。内容につきましては、諏訪地域の市町村のホームページをご覧ください。

コロナ禍で、誰もが最も大事なことは「いのち」だと再認識しました。一つのかげがえのない命、命は子どもの未来を広げていきます。どんな時代が変わろうと、豊かな人間性、思いやりの気持ち、自然を愛する心が大切です。人の温かさや繋がりを大切に毎日を送ることが幸に繋がっていきます。子どもたちの日常を大切に見守っていきましょう。